

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：地域包括ケア課

担当名：認知症・虐待防止担当

内線： 3251

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S28	成年後見制度利用促進事業			一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	在宅高齢者支援事業費	
事業期間	平成17年度～	根拠法令	老人福祉法第32条の2			針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0301 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-c	3
1 事業の概要 今後、認知症高齢者や親族等による成年後見の困難な者が増加し、成年後見制度の需要の増大が見込まれることから、市町村において成年後見制度を活用するための体制の整備・強化の支援をし、成年後見制度の利用を促進する。 イ 成年後見制度利用促進体制構築事業 △982千円 【補正予算の概要】 ・研修の開催方法の変更による減額 ・実績が見込みを下回ったことによる減額 合計 △982千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 市民後見推進事業					

事業内訳書

事業名	成年後見制度利用促進事業		
単位事業名	成年後見制度利用促進体制構築事業	予算額	△ 982千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	△491	—	老人福祉費補助金 補助率1/2
一般財源	△491	—	
合計	△982	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△749	—	成年後見制度に係るアドバイザー派遣回数が見込みを下回ったこと による減額
旅費	△6	—	成年後見制度に係るアドバイザー派遣回数が見込みを下回ったこと による減額
役務費	△91	—	会議開催方法をオンラインにしたことによる減額
使用料及び賃借料	△136	—	会議開催方法をオンラインにしたことによる減額
合計	△982	—	